

これが  
言いたい

柔道は国際交流に計り知れない力を持っている

## 世界をつなぐ「日本の心」

山下 泰裕

NPO法人「柔道教育」  
ソリタリテイ」理事長



さる7月21日、イスラエル

リダリテイ

とパレスチナの子どもたちによる柔道の合同練習会をエルサレムで開いた。互いに敵対し、ふれ合う機会すらない双方の子どもが同じ場にいるだけで、目的を果たしたと思っていた。ところが気がつく、両者が組み合う「乱取り」のけいこが始まっていた。

柔道を通して日本の心を伝え、国際交流を深めて平和への一助としたい。そんな思いからNPO法人「柔道教育」

てはどうか」と政府に助言したという。私は03年1月の日露首脳会談に向け①ロシア選手強化への協力②大統領の柔道に関する著作の邦訳と出版

その後、国際柔道連盟理事として忙しい国々に柔道若を送る活動などに取り組んだ。

③03年5月のサンクトペテルブルク建都300周年記念行事に私自身も参加し、大統領が若き日にけいこをした柔道場で日露首脳会談を行う――

その後、国際柔道連盟理事として忙しい国々に柔道若を送る活動などに取り組んだ。

結果的に、09年の著作出版で提案はすべて実現した。建都300年行事の際、主要国で大統領が単独で会談した首脳は米國と日本だけだった。

「友好柔道館」が日本政府の資金協力で完成し、私たちも活動を支援している。こちら

の3点を外務省に提案した。

「思い」の大切さだ。かつて日中間で不幸な歴史があった南京に今春

「柔道を通じ、異文化を認め合う」

「思い」の大切さだ。かつて日中間で不幸な歴史があった南京に今春

「友好柔道館」が日本政府の資金協力で完成し、私たちも活動を支援している。こちら

「思い」の大切さだ。かつて日中間で不幸な歴史があった南京に今春

「友好柔道館」が日本政府の資金協力で完成し、私たちも活動を支援している。こちら

「思い」の大切さだ。かつて日中間で不幸な歴史があった南京に今春

「礼」にのっとりけいこに励んでいる。冒頭の交流も、イスラエル側指導者の一人が懸命に実現に協力してくれた。

\*

ほしいからだ。わかるか」と説かれた姿を忘れない。

私たちのNPOは、12月に福岡で開く中学生の国際柔道大会にイスラエル、パレスチナ双方の子どもを招いての交流活動を準備している。この

活動の原点は柔道の創始者、嘉納治五郎師範と東海大学創立者、松前重義前総長の精神である。嘉納師範は日清戦争の後、作家の魯迅ら中国からの留学生を最も多く受け入れた一人であり、高弟を海外に派遣するなど柔道の普及に貢献された。柔道の「自他共栄」の精神を世界に伝えようとしたのだ。

松前前総長は柔道をこよなく愛し、私を東海大学に誘い、孫のようにかわいがってくれた。晩年「山下君、ほくが君を応援してきたのは試合で勝ってほしいからだけじゃない。スポーツを通して世界平和に貢献できる人間になって

ほしいからだ。わかるか」と説かれた姿を忘れない。

私たちのNPOは、12月に福岡で開く中学生の国際柔道大会にイスラエル、パレスチナ双方の子どもを招いての交流活動を準備している。この

活動の原点は柔道の創始者、嘉納治五郎師範と東海大学創立者、松前重義前総長の精神である。嘉納師範は日清戦争の後、作家の魯迅ら中国からの留学生を最も多く受け入れた一人であり、高弟を海外に派遣するなど柔道の普及に貢献された。柔道の「自他共栄」の精神を世界に伝えようとしたのだ。

松前前総長は柔道をこよなく愛し、私を東海大学に誘い、孫のようにかわいがってくれた。晩年「山下君、ほくが君を応援してきたのは試合で勝ってほしいからだけじゃない。スポーツを通して世界平和に貢献できる人間になって

ほしいからだ。わかるか」と説かれた姿を忘れない。

私たちのNPOは、12月に福岡で開く中学生の国際柔道大会にイスラエル、パレスチナ双方の子どもを招いての交流活動を準備している。この

活動の原点は柔道の創始者、嘉納治五郎師範と東海大学創立者、松前重義前総長の精神である。嘉納師範は日清戦争の後、作家の魯迅ら中国からの留学生を最も多く受け入れた一人であり、高弟を海外に派遣するなど柔道の普及に貢献された。柔道の「自他共栄」の精神を世界に伝えようとしたのだ。

松前前総長は柔道をこよなく愛し、私を東海大学に誘い、孫のようにかわいがってくれた。晩年「山下君、ほくが君を応援してきたのは試合で勝ってほしいからだけじゃない。スポーツを通して世界平和に貢献できる人間になって

ほしいからだ。わかるか」と説かれた姿を忘れない。

私たちのNPOは、12月に福岡で開く中学生の国際柔道大会にイスラエル、パレスチナ双方の子どもを招いての交流活動を準備している。この

活動の原点は柔道の創始者、嘉納治五郎師範と東海大学創立者、松前重義前総長の精神である。嘉納師範は日清戦争の後、作家の魯迅ら中国からの留学生を最も多く受け入れた一人であり、高弟を海外に派遣するなど柔道の普及に貢献された。柔道の「自他共栄」の精神を世界に伝えようとしたのだ。

松前前総長は柔道をこよなく愛し、私を東海大学に誘い、孫のようにかわいがってくれた。晩年「山下君、ほくが君を応援してきたのは試合で勝ってほしいからだけじゃない。スポーツを通して世界平和に貢献できる人間になって

ほしいからだ。わかるか」と説かれた姿を忘れない。

私たちのNPOは、12月に福岡で開く中学生の国際柔道大会にイスラエル、パレスチナ双方の子どもを招いての交流活動を準備している。この

活動の原点は柔道の創始者、嘉納治五郎師範と東海大学創立者、松前重義前総長の精神である。嘉納師範は日清戦争の後、作家の魯迅ら中国からの留学生を最も多く受け入れた一人であり、高弟を海外に派遣するなど柔道の普及に貢献された。柔道の「自他共栄」の精神を世界に伝えようとしたのだ。

松前前総長は柔道をこよなく愛し、私を東海大学に誘い、孫のようにかわいがってくれた。晩年「山下君、ほくが君を応援してきたのは試合で勝ってほしいからだけじゃない。スポーツを通して世界平和に貢献できる人間になって

ほしいからだ。わかるか」と説かれた姿を忘れない。

私たちのNPOは、12月に福岡で開く中学生の国際柔道大会にイスラエル、パレスチナ双方の子どもを招いての交流活動を準備している。この

活動の原点は柔道の創始者、嘉納治五郎師範と東海大学創立者、松前重義前総長の精神である。嘉納師範は日清戦争の後、作家の魯迅ら中国からの留学生を最も多く受け入れた一人であり、高弟を海外に派遣するなど柔道の普及に貢献された。柔道の「自他共栄」の精神を世界に伝えようとしたのだ。

松前前総長は柔道をこよなく愛し、私を東海大学に誘い、孫のようにかわいがってくれた。晩年「山下君、ほくが君を応援してきたのは試合で勝ってほしいからだけじゃない。スポーツを通して世界平和に貢献できる人間になって

ほしいからだ。わかるか」と説かれた姿を忘れない。

私たちのNPOは、12月に福岡で開く中学生の国際柔道大会にイスラエル、パレスチナ双方の子どもを招いての交流活動を準備している。この

活動の原点は柔道の創始者、嘉納治五郎師範と東海大学創立者、松前重義前総長の精神である。嘉納師範は日清戦争の後、作家の魯迅ら中国からの留学生を最も多く受け入れた一人であり、高弟を海外に派遣するなど柔道の普及に貢献された。柔道の「自他共栄」の精神を世界に伝えようとしたのだ。

松前前総長は柔道をこよなく愛し、私を東海大学に誘い、孫のようにかわいがってくれた。晩年「山下君、ほくが君を応援してきたのは試合で勝ってほしいからだけじゃない。スポーツを通して世界平和に貢献できる人間になって

ほしいからだ。わかるか」と説かれた姿を忘れない。

私たちのNPOは、12月に福岡で開く中学生の国際柔道大会にイスラエル、パレスチナ双方の子どもを招いての交流活動を準備している。この

活動の原点は柔道の創始者、嘉納治五郎師範と東海大学創立者、松前重義前総長の精神である。嘉納師範は日清戦争の後、作家の魯迅ら中国からの留学生を最も多く受け入れた一人であり、高弟を海外に派遣するなど柔道の普及に貢献された。柔道の「自他共栄」の精神を世界に伝えようとしたのだ。